

# 北近江の戦国史



田中城跡登り口の石碑

賤ヶ岳古戦場の武者像

横山城跡の石碑

北近江の戦国史 関連地図

発行：令和6年10月14日

編集：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課

安土城・城郭調査係

〒520-8577

滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL077-528-4678 FAX77-528-4956

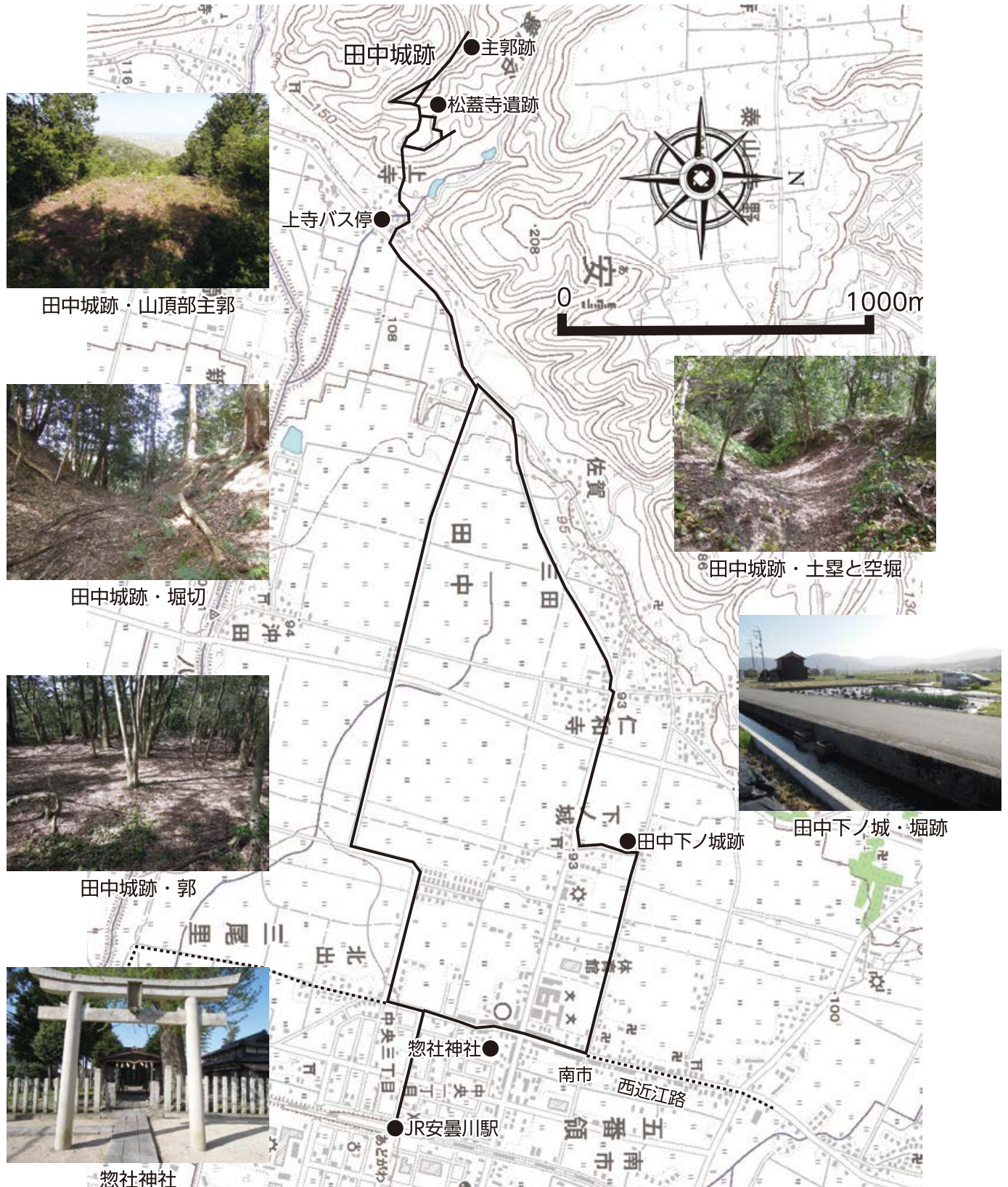
Mail castle@pref.shiga.lg.jp



## ◆ コース 1 田中城跡（高島市）

田中城は、湖西平野の西、泰山寺野台地の南東に位置する標高約240mの山城です。近江源氏佐々木氏の一族で、高島七頭の一つである田中氏の居城でしたが、元亀争乱の中で、織田軍の攻撃を受け、最後に城は明智光秀に与えられました。

城は山腹に広がる東側の郭群と尾根上に伸びる西側の郭群に大別されます。東側の郭群は、西端に位置する松蓋寺の遺構とされる観音堂を頂点に、斜面が削平されて土塁に囲われた方形の郭が並列しています。寺院の遺構を利用したものと思われる。一方西側の郭群は尾根上に土塁や空堀で囲われた郭が並ぶ、城郭の遺構です。東側の郭群は田中氏時代のもので、西側の郭群は明智光秀によって整備されたと考えられます。





## ◆ コース2 横山城跡（長浜市・米原市）

横山城は長浜市と米原市の間に位置する横山丘陵の頂上部一帯に築られました。標高約312mの頂上に築かれた北城とそこから延びる南尾根上の南城からなる別城一郭の城です。北城は西尾根の先端に二重堀切を設けること以外は単調な構造である一方、南城は土塁だけでなく、虎口や豎土塁、豎堀を設けるなど複雑な構造を持ちます。

築城時期は不明ですが京極氏の支城として築かれたと考えられ、浅井氏の手にわたり、長政の代に本格的な改修がなされました。姉川の合戦の際に羽柴秀吉らに攻められ開城し、秀吉が城番となり、小谷城が落城するまで北近江の拠点として機能しました。賤ヶ岳の戦いの際にも、秀吉による改修が行われ現在残る遺構はこの時期のものと考えられます。





## ◆ コース 3 賤ヶ岳古戦場（長浜市）

賤ヶ岳の戦いは、天正11年（1583）に近江国北部の賤ヶ岳周辺で行なわれた羽柴秀吉と柴田勝家との戦いです。越前に居を構える柴田勝家（●）は国境の玄蕃尾城を本陣として南方に、一方の羽柴秀吉（●）は木之本から余呉湖付近にかけて北陸道を幾重にも封鎖する形で城を築くなど、築城合戦の状況を呈していました。余呉湖の東側の丘陵に羽柴軍が築いた岩崎山砦、大岩山砦は柴田軍に攻め落とされ、賤ヶ岳砦も占拠寸前でしたが、秀吉の美濃大返りで勢いを得た羽柴軍が激戦の末に勝利しました。賤ヶ岳砦からは余呉湖と周辺の城跡が一望できます。



賤ヶ岳砦から北を望む



毛受兄弟の墓（行市山登山道登り口）



江土登山口



岩崎山砦跡



中川清秀の墓（大岩山砦跡）



賤ヶ岳砦から南を望む

余呉駅発着コース ..... 総距離約9.5km